

令和2年3月24日

「令和二年度に向けて」

校長 秋葉 美浩

在校生の皆さん、体調を崩すことなく健康を保っていますか？

前庭の桜もちょうど満開の時を迎えています。

残念ながら皆さんはその美しい姿を見ることができませんが、4月には新緑の青葉で、登校する皆さんを迎えてくれることでしょう。

さて、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常より三週間ほど短くなりました。授業は概ね終了していましたが、卒業式に列席できなかつたり、部活動やクラスの仲間との交流もできなくなつたりして残念に感じている人も多いでしょう。しかし、立ち止まっているときではありません。二週間後からは新二年生、新三年生として

新たな学びがスタートします。そのための準備が今必要です。下の文は卒業生に配布した「祝辞」の一部ですが、新年度を迎える皆さんにも伝えたいことですので紹介します。準備万端整え、令和二年度もゆっくり少しずつで良いですから、常に前進を続けていきましょう！



2020年3月24日撮影

また、「今何をすべきか」常に考えることも大切であると併せて伝えてきました。今回、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、「今何をすべきか」を日本国民全員が考え適切な行動を取ることが求められています。しかし、自宅学習期間にもかかわらずカラオケボックスに集まる学生や、誤った情報に誘導されてトイレトーパーを買い占める大人が存在することも事実です。何が正しくて何が間違いなのか、それは未来にしか分からないことですが、ベストでなくてもベターな方策をとるように「今行動する」ことが大切だと考えます。なお、もしも今の判断が誤っていた場合は、気づいた段階でためらわず修正していく勇気も忘れないでください。

皆さんはこれからの人生でいくつかの課題・壁に立ち向かわねばならないときがあると思います。そんなとき、過去に学び、未来を想像することで、「今何をすべきか」を主体的に考え行動していってくれると期待しています。

(第38回卒業証書授与式「祝辞」より抜粋)